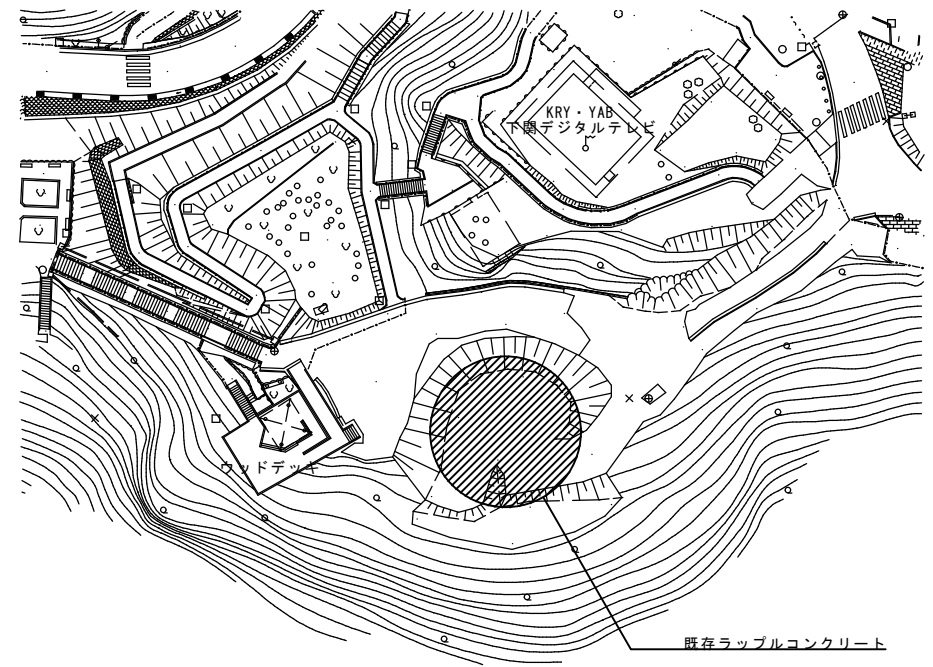


基礎伏図

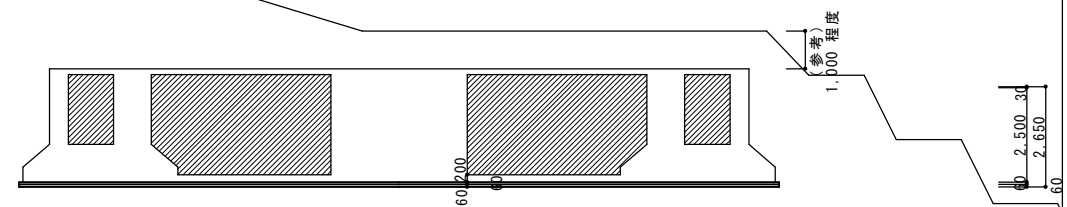
— コンクリート打設範囲を示す。

□ 既存基礎について
 旧展望台は、昭和48年竣工の地上4階地下1階のRC造建物である。
 平成30年に旧展望台は解体を行ったが、基礎部分は空隙にコンクリート（呼び強度18）を打設し埋設している。
 平成21年に耐震診断を実施しており、地下1階部分（解体済）のコンクリート強度が20.9N/mm²となっていることを確認している。また、埋設基礎部分について平成30年度に追加でコンクリート圧縮試験を実施し、圧縮強度が35.2N/mm²であることを確認した。
 中性化深さについても確認しており、中性化が鉄筋に達していないことを確認した。

□ ラップルコンクリートについて
 500kN/m²以上の地耐力を確保するためには、コンクリートの設計基準強度をF_c1.5（1.5N/mm²）とする必要があると想定している。本案件のラップルコンクリートの設計基準強度はF_c18としており、既存基礎の圧縮強度が20.9N/mm²以上であるため、既存基礎はラップルコンクリートとしての機能を十分に果たせると想定している。



配置図 S:Noscle



既存断面図

既存断面図			
縮尺	1:100		
図号	A4-1/200		